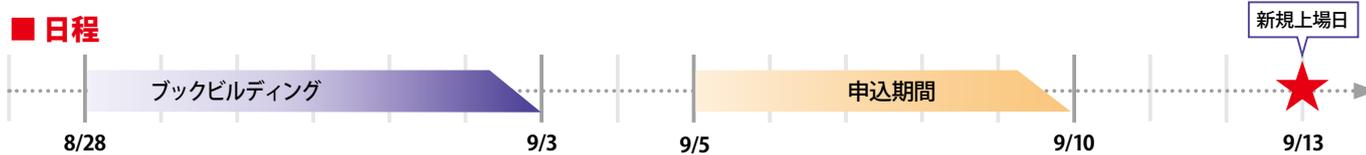


IPO銘柄 サンワカンパニー (3187・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3187	100株	公募: 38.0万株 売出: 0株 (OA5.7万株)	870円~950円 (11.2倍)	野村証券



販売価格の透明性を確保した建築資材のネット通販を手掛ける

■ 事業内容

タイル、フローリング、洗面ボウル、バスタブ、照明、キッチンなど建築資材のインターネット通販を手掛ける。国内外のメーカー、商社から仕入れた商品を、販売価格を明示して掲載し、購入者の属性にかかわらず同一価格で販売。東京、大阪、名古屋、シンガポールにショールームを有する。販売施策として年2回のカタログを発行しているが、12年9月期には新たに商品説明だけでなくライフスタイルを提案する雑誌媒体「La Vita」を発行。建築資材のインターネット通信販売事業の単一セグメントだが、商品別では洗面とキッチンのウェートが高い。

■ 特徴

建築業界で建築資材は販売者と購入者の相対取引で、その都度価格が決定されており、同社の行う同一価格販売は業界の商習慣と一線を画す。透明性を確保しており、建築主が自ら材料を調達して施工のみを依頼する「施主支給」を推進している。洗面台やキッチンを中心にオリジナル商品の拡充も進めている。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年9月期の連結経常利益は前期比20.6%減の3億円を計画する。アベノミクスを背景とした住宅市況の活況が伝わる中での減益予想には、やや失望感がある。ただ、消費税増税前の駆け込み需要などが寄与するのは14年9月期がメインとなりそうで、来期の増益期待は高い。

■ 定性分析

建築資材のインターネット通信販売事業を手掛けており、既上場 MonotaRO<3064>との類似性が指摘されている。MonotaROは優良ネット企業として高く評価されており、すでに東証1部市場へ上場済み。減益予想はネックだが、ネット株人気も高く初値動向への期待感が高い。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約4億円。吸収金額自体は少ないが、筆頭株主はベンチャー投資・育成を手掛けるドリームインキュベータ。ロックアップ条項は付されているものの、主幹事証券が裁量で解除できる権限を有しており、動向は不透明だ。(小泉 健太)

■ 類似企業

サンワカンパニー(3187・マザーズ)	予想PER11.2倍 (仮条件上限)
MonotaRO (3064・東証1部)	予想PER64.7倍
ビューティガレージ (3180・マザーズ)	予想PER17.4倍

■ 引受証券

野村証券、東洋証券、東海東京証券、丸三証券、エイチ・エス証券、SMBC 日興証券、SBI証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年9月期(実績)	3,493	—	239	—	109	—	45.7	10.0
12年9月期(実績)	4,640	32.8	377	57.7	176	61.5	73.4	10.0
13年9月期(会社予想)	5,518	18.9	300	▲20.6	204	16.1	84.5	10.0

※ 11年9月期から連結決算、13年5月に株式分割(1株→20株)を実施。12年9月期および11年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年9月期	120,000	1,896	433	150	180.8	22.9	28.8
12年9月期	120,000	2,311	588	150	245.4	25.5	34.4

※ 12年9月期および11年9月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	ドリームインキュベータ	700,000	22.63
2	山根太郎	412,000	13.32
2	山根良太	412,000	13.32
4	谷口互	380,000	12.29
5	山根知子	356,000	11.51
6	荒砂康行	286,000	9.25
7	原野繁之	120,000	3.88
8	野村證券	100,000	3.23
8	山根アセット	100,000	3.23
10	平井靖人	66,000	2.13

経営陣

	役職	氏名
	代表取締役社長	谷口 互
	取締役 インターネット事業部長	荒砂 康行
	取締役 管理部長	平井 靖人
	常勤監査役	栄 秀人
	監査役	楠山 宏
	監査役	児玉 文人

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会